

災害危険箇所などを視察

梅雨時期を前に、消防団、消防署、警察署、市等の防災関係者が5月27日、市内の災害危険箇所や災害復旧箇所を視察しました。

今年は急傾斜（福島町播磨釜(2)地区）、砂防（今福町今福川地区）、地すべり（今福町坂野免）、急傾斜（調川町天神坂地区）、砂防（志佐町谷口川地区）の5箇所を視察。防災関係者は、それぞれの現場の災害対策工事の進み具合や今後の復旧作業などを念入りに確認しました。



星鹿少年ソフトが羽黒神社を清掃

星鹿町の少年ソフトボールチーム「星鹿少年ソフト」が5月29日、羽黒神社の清掃を行いました。

市内で開催されるソフトボールの大会に毎年参加している長与町のソフトボールチームが、同神社に宿泊させてもらっていることへの感謝の気持ちを込めて、20年以上前から毎年清掃を行っています。

この日は、選手や保護者約10人が約1時間、ほうきを手に落ち葉を掃き集めました。

清掃を終えた児童たちは、「さっぱりになって気持ちよくなった。長与町の選手とは仲良しなので、毎年交流を楽しみにしています」と話してくれました。

三世代で交通安全を学ぶ

三世代交流交通教室が5月31日、福島町集会所とその周囲の道路で開催されました。

三世代が交流しながら交通ルールを学んでもらおうと、ひかりヶ丘保育園、福島町老人会、松浦警察署、松浦地区交通安全協会福島支部が主催したものです。

この日参加した地域の園児と保護者、お年寄りなど約50人は、松浦警察署や交通安全協会からの講話を聞いた後、3人1組になって約1キロのコースに出発。横断歩道などを通り、途中にある交通安全クイズを解きながら、楽しく交通ルールを学びました。



まちの話題



市内各地で光の乱舞

5月下旬から6月中旬頃にかけて、市内各地で多くのホタルが飛び交いました。

特に御厨町木場地区を流れる木場川には、市内外から多くの人がホタルを見物に訪れました。





松浦市地婦連が四川省大地震に救援募金

松浦市地域婦人会連絡協議会（榎元あや子会長）が6月10日、中国四川省大地震救援募金として街頭募金活動を行いました。

全国地婦連が中国の婦人連合会と35年来の交流があったため募金を企画し、下部組織でもある同会も賛同し募金を実施したものです。

この日は会員16人が参加。志佐町のまつばや周辺、市役所、松浦海のふるさと館の3箇所で募金を呼びかけました。集まった募金56,570円は、全国地婦連を通じて中国側に届けられます。

熱帯植物ストレチア・ニコライが開花

中川サエ子さん（星鹿・下田、74）宅で、南国を思わせる植物バショウ科ストレチア属のニコライが開花しました。

佐世保市亜熱帯動植物園の話によると、原産地は南アフリカで高さ5m以上にもなる植物。ニコライの開花は温室栽培以外では難しく、特に松浦市という地理的位置から判断すると露地での開花は珍しい。

中川さんは、10年ほど前約30cmのポット苗を購入。

現在は4mほどに成長し、昨年初めて花が咲きました。中川さんは「8年間ほど開花しなかったもので、花は咲かないものと思っていました。大変珍しい花が咲いたので近所の方などにも見てもらいました。長く花が楽しめるようです」と話していました。



身体障害者福祉協会総会

平成20年度松浦市身体障害者福祉協会の定期総会が6月7日、松浦市社会福祉センターで開かれました。

物故身体障害者へ黙とうをささげた後、岸田義孝会長が「来年5月に長崎市で行われる第54回日本身体障害者福祉大会長崎大会に向けた活動への協力に對し感謝をします。今後も協力しあい努力をしていきましょう」とあいさつ。参加した会員や関係者約40人は障害者の自立と社会参加、協会組織の拡大強化に努力するとして今年度の活動方針や行事計画などを承認しました。



松浦ロータリークラブが国道を清掃 —ルート204 クリーン大作戦—

松浦ロータリークラブ（山本勝治会長）が6月8日、松浦市内の国道204号線沿いの空き缶等のごみ収集作業を行いました。

同クラブの創立35周年記念事業としてこの奉仕作業を企画したもの。会員やその家族など約40人は、5班に分かれて、軍手と火ばさみなどを使い、空き缶・空ビン・燃やせるゴミなどに分別しながら、約2時間かけて清掃を行いました。



おかみ
女将の会が市に寄付

市内で旅館などを営む「松浦旅館女将の会」（祖川久美子会長）が6月3日、市に寄付を行いました。

同会設立10周年にあたり、人が集まるところをきれいにする費用にあててほしいと寄付したものの。この日市役所を訪れた会員6人は、友広市長に寄付を手渡しました。

寄付を受けた友広市長は「西九州自動車道の整備や体験型旅行の推進などで交流人口が増えている。松浦を訪れる人たちが気持ち良く帰ってもらえるような整備の費用に活用します」と話していました。



近江鍛工が学校に寄付

近江鍛工（坂口康一社長）が5月30日、御厨中学校区の小中学校5校に寄付を行いました。

同社は、これまで3回市立図書館へ図書購入費等を寄付。今年は、同社長崎工場（平成6年御厨町に設立）が地域に貢献しようと地域内の小中学校に寄付したものです。

この日は、同社長崎工場の太田^{とみほ}富穂副工場長が市役所を訪れ、各小中学校の校長に寄付を手渡しました。

太田副工場長は、「日ごろからトラックが通行し、従業員が居住している御厨地区にお礼を兼ねて寄付をさせていただきました。図書等の購入など、子どもの健やかな成長のためにご活用ください」と話しました。

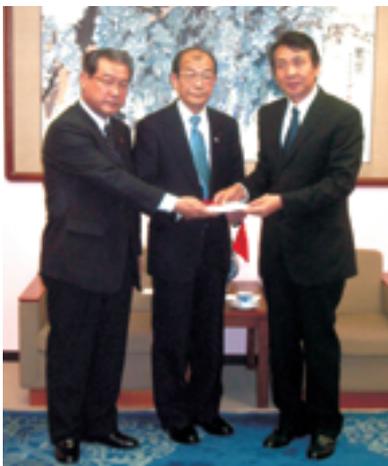


松浦市から中国総領事に地震見舞金

友広市長並びに中塚市議会議長は5月26日、中華人民共和国在長崎総領事館を訪ね、^{とうあんぐん}滕安軍総領事に中国四川大地震の災害復興見舞金として10万円を送りました。

数年前から水産物を中心とした食文化交流や、市内に研修生を受け入れた技術交流が行われており、関わりが深いことから送られたものです。

また、各支所などに6月30日まで設置していましたが募金箱の義援金については、長崎県日中親善協議会を通じ被災地へ送ることとしています。ご協力ありがとうございました。



4年間無火災で第7分団に表彰

志佐町の中心市街地を管轄する松浦市消防団第7分団が、4年間（平成16年1月1日から）無火災を達成し、5月25日に壱岐市で開催された第61回長崎県消防団大会で表彰を受けました。

古賀一部分団長は、「とても光栄に思っています。これもひとえに住民皆様の予防消防に関する意識の高さと先輩団員の方々のご努力のたまものと意識しています。今後も、団員一丸となって、地域の予防消防に努めてまいります」と話していました。



お詫びと訂正

市報まつうら6月号に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。
○18頁「まちの話題」福島町で戦没者追悼式の本文中
（誤）大山神社 （正）今山神社